

京築連帯アメニティ都市圏構想とは

京築地域は、北九州と中津のあいだに位置し、海岸沿いに延びる幹線道路・鉄道を軸として地域が繋がりを持っています。この構想では、こうした地理的特性と、自然の中に工場等が立地する環境的特性、農村と都市が共存する社会的特性を活かし、地域全体が協調しながら発展を目指すという意味で「連帯」という言葉を使っています。京築連帯アメニティ都市圏構想とは、5つのプロジェクトを通じ、「アメニティ」という言葉が示すように、快適でゆとりある暮らしと強固な経済基盤を兼ね備えた個性的な都市圏づくりを県と7つの市と町が一体となって、進めていこうというものです。

7市町の総合力を高める5つの戦略的プロジェクト

1

「産業の力」向上プロジェクト

豊かな自然を背景にした農林水産業と自動車産業の集積が進むという二面性を持つ地域特性を維持・発展させるため、一次産品のブランド化、自動車関連産業の集積拡大などを推進します。

2

「教育の力」育成プロジェクト

京築地域が育んできた伝統文化の保全を進め、神楽や食文化を地域内外に紹介するイベントの実施や伝統文化の発展継承のための「神楽の里」づくりを推進します。

3

「文化の力」蓄積プロジェクト

子どもの社会性、地域への愛着を育成することを目指し、地域社会が教材となる教育プロジェクトに取り組みます。また、大学等との連携や高等教育研究機関の誘致などを視野に入れつつ、豊かな自然、伝統文化、最先端の産業技術などにふれあいながら感性を培い、次代を担う高度な技術者や文化人を養成する仕組みづくりを推進します。

4

景観活用プロジェクト

京築地域の豊かな自然と景観、特徴ある歴史と文化、地理的特性を活かした交流ルートとそれを守るための広域景観ルールづくりを推進します。

5

情報発信プロジェクト

京築地域の情報を地域内外に発信し、京築のことを多くの人を知ることができるとともに、地域の人たちが持っている情報を簡単に発信できる、住民参加型の情報発信ができる仕組みづくりを推進します。

産業集積と ゆとりある居住環境が ともにある京築地域へ

共有する地域資源

環境資源 / 自然の恵み

- 平尾台、英彦山山系の山の恵み
- 川と谷筋という独特の地形がもたらす恵み
- 周防灘の海の恵みと多種多品目にわたる農産物
- 海・山・川が織りなす景観

社会資源 / 立地の恵み

- 北九州空港、東九州自動車道、菊田港、JR 日豊本線などの広域交通網
- 北九州工業地帯に隣接した立地とものづくりの基盤
- 自動車関連産業を中心とした産業集積

文化資源 / 歴史の恵み

- 古墳・神社仏閣・歴史的建造物など豊富な文化財
- 受け継がれている伝統的民俗芸能
- 数多くの神楽講や保存会の存在

人的資源 / 人々がもたらす恵み

- コミュニティや地域に活力を与える都市と農村との交流
- 地域住民や様々な団体による活動
- 子ども達の成長を健やかに見守る環境づくり